

# 生誕100年記念 2作品【35ミリフィルム】特別上映



## 小林正樹監督

1916年、北海道小樽市生まれ。木下恵介監督の助監督を経て、1952年に「息子の青春」で監督デビュー。初期は「まごころ」「この広い空のどこかに」など師の木下譲りのホームドラマ形式であったが、戦犯問題の「壁あつき部屋」や全6部の大作「人間の条件」「東京裁判」などで取り組むテーマを一変させた。その後「切腹」「怪談」「上意討ち」などカンヌ、ヴェネツィア、ベルリンの国際映画祭で数多くの映画賞を受賞。

# この広い空のどこかに

出演/佐田啓二 高峰秀子 久我美子

1954年/111分/松竹/音楽:木下忠司/脚本:松山善三 楠田芳子

平凡な家族で起こるささやかな誤解と和解。のちに世界的巨匠となる小林正樹監督の新鮮かつ細やかな人物描写が秀逸なホームドラマの名作。

午前11時と午後3時10分の2回



木下学校の  
優等生たち  
が活躍した  
2作品

# まごころ

1953年/95分/松竹/脚本:木下恵介/音楽:木下忠司  
出演:田中絹代、東山千栄子、津島恵子、高橋貞二、石浜朗、三橋達也、淡路恵子、野添ひとみほか

少年と少女の愛を叙情豊かに綴った長編デビュー作。少女に扮した野添ひとみは出演2作品目のこの一作で清純派スターの印象を決定づけた。脇を固める田中絹代などの起用も含め、当時の松竹が小林に対していかに期待していたかを物語っている。

午後1時20分と午後5時30分の2回

©1953 松竹株式会社 まごころ

10/24 (月) 25 (火) 26 (水)

桜井薬局セントラルホール  
022-263-7868

1作品 当日 1300円 前売および電話予約 1000円 (前売券) 桜井薬局セントラルホールで発売

主催 せんだい映画村 070-5323-1939 大石 \*〈せんだい映画村〉会員募集中

11/10

(木)

12:30 開場

13:00 開演



講演 **崔 洋一**監督 「映画は誰のものか」

1949年生まれ。1976年大島渚監督「愛のコリーダ」のチーフ助監督を務めるほか大島作品に深く関わった後、83年「十階のモスキート」で監督デビュー。93年「月はどっちに出ている」で53にわたる映画賞を受賞し一躍脚光を浴びる。04年「血と骨」では日本アカデミー賞最優秀監督賞ほか多数受賞。日本映画監督協会理事長。関西大学客員教授、東京大学教養学部非常勤講師。

特別上映

## 十階のモスキート

1983年、108分、監督・脚本：崔洋一、脚本：内田裕也、出演：内田裕也、アン・ルイス、小泉今日子、中村れい子、ビートたけし、横山やすし、安岡力也、趙方豪、吉行和子、佐藤慶、宮下順子他

出世の見込みも無く、妻に逃げられた警察官の男が、毎月の慰謝料、養育費、バーのツケ、ギャンブルの借金に追われ、ついには郵便局強盗を企てる・・・。



会場 仙台市市民活動サポートセンター 前売・電話予約 1000円 当日 1300円 映画村会員 800円

11/11

(金)

10:00 開場

10:30 上映

時代が求め時代に挑み続けた精鋭 **デビュー作祭 第一弾**

大島 渚監督・脚本作品 1959年 「**愛と希望の街**」

靴磨きに混じって一人鳩を売る少年。通りすがりの令嬢が同情し鳩を買うが、それは貧しさのために行なっていた鳩の習性を利用した金儲けだった…。

上映終了後 **崔 洋一**監督の講演 「大島渚との出会い」



会場 仙台市市民活動サポートセンター

前売・電話予約 1000円 当日 1300円 映画村会員 800円

1月から中平康、増村保造、今村昌平、篠田正浩、吉田喜重、浦山桐郎、熊井啓、神代辰巳監督の**デビュー作祭**を続けます。せんだい映画村に問い合わせ下さい。

## せんだい映画村会員募集

日本映画の名作を観賞するグループ「せんだい映画村」は、会員を募集しています。ときおり映画の創り手を囲みながら、茶話会や映画講座、映画塾も開講しております。随時受け付けしておりますので、上映会場でお申し込み下さい。  
\*入会金：1年・1000円（毎月の通信費にあてさせていただきます）

氏名

〒・住所・電話

上記にご記入いただき、上映会当日にお申し込み下さい。

連絡先

〒984-0061

仙台市若林区南鍛冶町159-1

phone 070-5323-1939

せんだい映画村事務局